

## それでも、「学び舎」に夢の存す

全国個性化教育連盟 副会長 永地 正直

「子どもを褒めたくても褒めるところがないから困る。」

信頼するベテラン教師のS先生の独り言が耳に入った。こういう悩みはよく耳にする。子どもが以前より悪くなったのだろうか。私は自分の子ども時代を回想してみた。

小学校1年の時、学芸会で浦島太郎役をどうしてもいやだと拒否した。乙姫様に大事にされる役は男らしくない、格好悪いと思っていたようだ。先生よりも友達の目が気になっていたのだ。大人たちには考えられないことが子どもの行動を左右している。

「操行」乙という通信票をもらって親を驚かせた。先生を困らせる子どもだった。

4年生では成績の順位が頭から離れなかった記憶がある。クラスで順位がつけられていた。それを1番でも上げようとあせった。中学に入ると小学校の優等生がベシヤンコになった。勉強の習慣がついていなかったのも、英語と数学が分からなくなった。先生はスパルタ式に遠慮なくこづいた。もう少しで登校拒否になるところだった。

戦争が激しくなり学徒動員で工場に駆り出されたので助かった。ようやく元気になったのは戦後、学校に自由な空気が入ってからだった。先生の教え方も変わった。国語の時間に映画の話をする先生があり、熱心に耳を傾けた。教頭先生から歴史観の話をして、非常に新鮮な感じがした。

NHKテレビでいじめ特集番組を見て、いじめの根底に子どもの受けるストレスがあることをあらためて思った。ストレスの原因は成績と競争である。この二つは学校にとって宿命のようなものだ、多くの人があきらめている。薬の副作用と同じだと思っている。

世間は学校信仰に凝り固まっている。学校で成績がよければ、子どもは成功すると信じている。それは、明らかに誤りなのだが、教師がそれに乗せられている。教育委員会も誤った考え

に立脚している。学校信仰を強制される子どもはストレスにさいなまれることになる。

私は「学校」をやめて「学び舎」に再生することを提案したい。点数と競争で凝り固まった「学校」におさらばして、学ぶことが楽しくなる「学び舎」にする。二千五百年も前に孔子は「学びて時にこれを習う、また楽しからずや」と言った。人間は学んで賢くなることに喜びを見いだすはずなのだ。

江戸時代に九州日田に咸宜園を開いた広瀬淡窓は塾生の個性をキリとツチに譬えた。自分の役割が分かると、点数や競争心を越えたものが生まれる。教えあい、助け合うことができる。「君は川流れを汲め、我は薪を拾う」という詩を淡窓は読んでいる。

温かい人間関係がなくて、成績だけ上がることを要求する「学校」とは縁を切りたい。沢柳政太郎が言ったように学校は道理の通じるところでなくてはならない。そのためには自由が必要だ。自由がなくては酸欠になってしまう。今までの「学校」は自由を摘み取ることから始め、仕付け押しつけ押しさえつけに終始した。これで勉強せよとは無理な話だ。

学習は先ず、分かることから始めねばならない。一つ分かると次が知りたくなる。知識がつけば今度は応用の場を与える。応用のない知識は死んだ知識である。「学校」は死んだ知識の詰め込みに終始し、生かすことを忘れていた。生かすためには校舎から出ることも必要だ。

福島県三春町の桜中学で、生徒に自分の時間割を作らせている教務主任の長谷川先生が「この学校で自分も変われると思った」と語っていた(NHKテレビ)。教育の大事な要素である「夢」がそこにある。(桜中の実践は『個性を育てる』第9号参照)桜中は教育委員会と建築家の協力で「学び舎」になった。

S先生は「ロマン」と言ったが、「学び舎」にはきっと「夢」が育つに違いない。

## 新理事決まる

平成8年度の理事を、平成7年度に引き続きまして下記の方々にお引き受けいただくことになりました。よろしくお願いいたします。なお、交代を予定されている等の新理事の方々につきましては、確認の遅れなどで、お名前が載っていない場合があります。ご了承下さい。

(平成8年4月 現在)

- 会長 染田屋謙相 (東京・元板橋区教育長)  
 副会長 加藤幸次 (東京・上智大学教授)  
 " 永地正直 (山口・生涯学習研究所主宰)  
 理事 岩崎誠一 (教育環境計画研究所会長)  
 " 小川 清 (北海道・前啓西小学校長)  
 " 坂井輝幸 (北海道・栄小学校長)  
 " 佐藤 有 (北海道教育大学文部教官)  
 " 五十嵐庸 (福島・大越小学校長)  
 " 齊藤健一 (福島・飯野町教育長)  
 " 武藤義男 (福島・前三春町教育長)  
 " ○江連富男 (埼玉・吉岡中学校長)  
 " ○徳永隆憲 (千葉・教委社教指導員)  
 " ○坂地澄夫 (千葉・五郷小学校教頭)  
 " ○溜 昭代 (千葉・打瀬小学校校長)  
 " ○浅沼 茂 (東京・東京学芸大助教授)  
 " ○石坂和夫 (岐阜・岐阜教育大教授)  
 " ○久保田滋 (東京・芦屋大学教育学部)  
 " ○清水正三郎 (東京・大東文化大学教授)  
 " ○志茂暁子 (東京・月光原小学校長)  
 " ○高浦勝義 (国立教育研究所室長)  
 " ○小堀常子 (町田市立金井小学校長)  
 " ○永井タケ子 (町田市南第三小学校教頭)  
 " ○平野朝久 (東京学芸大学助教授)  
 " ○松野康子 (東京・黒門小学校長)  
 " 神代醇一 (静岡・島田市教委教育課長)  
 " 青木昭平 (新潟・黒崎町教委教育長)  
 " 松原雅子 (富山・入善町上青小教頭)  
 " 上島賢一 (富山・入善町野中小学校長)  
 " 松下晴彦 (愛知・相山女学園大助教授)  
 " 皿井 信 (愛知・二川南小学校長)  
 " 鈴木正幸 (神戸大学教授)  
 " 山本欽三 (兵庫・神戸市榎野台小校長)  
 " 長田勝男 (沖縄・那覇教委事務局長)  
 " 山城秀次 (沖縄・仲井真小学校長)

……東海個性化教育研究会……

- 理事○新美一成 (会長 東浦町教育長)  
 " ○村田武雄 (副会長 島田市教育長)  
 " ○川瀬義明 ( " 池田小学校長)  
 " 今泉昭郎 (愛知・稲武小学校長)  
 " 増田智治 (静岡・初倉小学校長)  
 " 古木米治 (静岡・六合中学校長)

- " 中山部義 (静岡・初倉南小学校長)  
 " 森 幸彦 (三重・松阪市第一小学校長)  
 " 薩谷 信 (愛知・片葩小学校長)  
 " 魚住忠久 (愛知教育大学教授)  
 " 竹内通夫 (金城学院大学教授)  
 " 成田幸夫 (監査 大府中学校教頭)  
 " 横山謙二 (監査 森岡小学校)  
 " 稲葉耕一 (事務局長 緒川小学校長)

……九州個性化教育研究会……

- 理事○前崎敏雄 (会長 第一経済大助教授)  
 " ○荒木 隆 (副会長 福岡教育事務所長)  
 " ○宮里朝景 ( " 沖縄・具志川市教委)  
 " 加藤幸次 (顧問 東京・上智大教授)  
 " ○三原英雄 ( " 福岡・春日市教育長)  
 " 村田喜一郎 (福岡・北九州教育委員会)  
 " 野口良治 (佐賀・山内西小学校)  
 " 石黒直洋 (鹿児島・栗野小学校長)  
 " 松尾法夫 (福岡・宗像市東郷小学校長)  
 " 田中 普 (福岡・教育事務所主事)  
 " 柏木順子 (福岡・田川市立中央中教頭)  
 " 竹浦ミトカ (福岡・ )  
 " 木下啓作 (福岡・北野小学校教頭)  
 " 池田信一 (福岡・志免西小学校)  
 " 白水 明 (福岡・教育事務所)

……関西個性化教育研究会(予定)……

- 理事○中井良興 (会長 但東町教育委員会)  
 " ○鈴木正幸 (副会長 神戸大学教授)  
 " ○長道圓順 ( " 遷喬小学校長)  
 " 坂本邦夫 (顧問 神戸学院女短教授)  
 " 須田 勇 ( " 神戸海星病院顧問)  
 " 加藤幸次 ( " 東京・上智大教授)  
 " 辰巳昌男 (兵庫・清和台小学校長)  
 " 原浩一郎 (兵庫・西谷小学校長)  
 " 本岡志東 (兵庫・多聞台小学校教頭)  
 " 堀真一郎 (和歌山・きのくに子ども  
 の村学園長・校長)  
 " 相良敦子 (京都・滋賀大学教授)  
 " 末方鐵郎 (兵庫・ )  
 " 石川克彦 (兵庫・合橋小学校長)  
 " 塩川剛三 (兵庫・但東町教育長)  
 " 今谷順重 (兵庫・神戸大学教授)  
 " 大矢 晟 (兵庫・榎野台小学校校長)  
 " 中井良宏 (三重・松阪大学教授)  
 " 戸江茂博 (兵庫・頌栄短大助教授)  
 " D.Willis (兵庫・相愛大学教授)  
 " 黒瀬杏三 (兵庫・稗田小学校長)  
 " 上村元正 (兵庫・山崎東中学校長)  
 " 三木堅吾 (兵庫・ )  
 " 山本欽三 (兵庫・神戸市榎野台小校長)

理事 石田 光 (大阪幼少年教育研究所長)  
 " 窪郷和男 (岡山・元瀬喬小学校長)  
 " 谷口育史 (事務局 神戸市榎野台小)  
 (〇印は常任理事)

※理事の方々の記載事項に誤りがありましたら事務局までお知らせください。

平成7年度 全国個性化教育研究連盟  
 会計報告 1996.3.30

○収入の部

種 別	予 算	決 算	備 考
個人会費	1000000	1038000	3000円
団体会費	220000	217000	5000円
東海個研	90000	78000	1500円
事業収益	110000	129300	会誌売上
繰越金	35906	35906	
預金利子	1000	1050	
その他	100000	36000	研参加費
合 計	1536906	1534206	

○支出の部

款	項 目	予 算	決 算	備 考
事業費	研究研修	30000	29000	
	広報活動	650000	795850	
	研究発表	70000	70000	
	支部活動	80000	110000	
	会議費	20000	20000	
事務費	事務費	50000	40000	
	連絡通信	600000	605715	
	消耗品費	35000	15810	
	諸費	1906	0	
合 計	1536906	1637375		

○差引残高 ————— - 103069円

・上記の通り決算報告いたします。

平成8年3月30日

会長 染田屋謙相

事務局長 高浦 勝義

会計部長 中澤 米子

・監査の結果、相違ないことを認めます。

平成8年3月30日

会計監査 行徳 高德

石坂 和夫

印章省略

平成8年度 全国個性化教育研究連盟  
 会計予算案 1995.3.30

○収入の部

種 別	予 算	決 算	備 考
個人会費	1200000		4000円
団体会費	220000		7000円
東海個研	85000		
事業収益	110000		会誌印税
繰越金	-103069		
預金利子	1000		
その他	40000		研参加費
合 計	1572931		

○支出の部

款	項 目	予 算	決 算	備 考
事業費	研究研修	40000		
	広報活動	650000		
	研究発表	70000		
	支部活動	110000		
	会議費	30000		
事務費	事務費	40000		
	連絡通信	600000		
	消耗品費	30000		
	諸費	2931		
合 計	1572931			

平成8年度 活動計画

会誌「個性を育てる」第10号の発行

今回は、第10号の記念号です。

6月の発行をめざして、最後の準備を進めています。今回は、「学習環境の創造」をテーマに論文を8本収録します。人的・物的、さらに地域を含めた学習環境を生かした実践例を9本予定しています。

第12回夏季研修会

7月30日(火)～31日(水)

於 兵庫県出石郡但東町出合 町民センター

21世紀に向けての個性化教育のあり方をさぐるをメインテーマにサブテーマを東井義雄先生の教育と個性化教育、これからの学校建築と

個性化教育として、兵庫県但東町で開催します。

但東町は小・中学校を含め、町をあげて先進的な個性化教育に取り組んでおり、施設の面でも、教育内容の面でも大いに参考にして頂けるものと思います。奮ってご参加下さい。

### 第6 国際研修会

隔年に計画している、海外研修も6回目になりました。今回は、オーストラリアの現地校の視察と観光を計画しています。8月の中旬から2週間程度の予定です。詳しくは、6月の会誌発送の折にお知らせできると思います。ご期待下さい。

### 会誌の発行

本年度は、この37号から、8月の38号(夏季研修会特集)、11月の39号(学期研究会特集)、2月の40号(各校の発表会特集)を計画しています。情報満載かつタイムリーな紙面にご期待ください。

### プロジェクト

今年度は、新しい教育課程を考えに入れたカリキュラム開発のプロジェクト、総合学習も含めた学習材の整理、活用、そして開発のプロジェクトを計画しました。

また、オープンの子どもの変容を追跡するプロジェクトは、いよいよアンケート調査を実施し、分析研究に入ります。

途中経過、結果等につきましては、会誌、会報を使って順次お知らせしていきたいと考えていますので、ご意見、ご希望をどしどしお寄せ下さい。

### 会費値上げについてのお願い

前号でもお願いしましたが、諸般の事情で、個人会費を4000円、団体会費を7000円に値上げ頂きます。振り込み用紙を同封いたしますので、よろしくご協力をお願いいたします。

〈事務局への問い合わせ・連絡先〉

〒115 東京都北区赤羽南1-16-2-504  
03-3903-4780 庶務部長 佐久間茂和

## 〈 事務局組織分担 〉

事務局長  
副会長  
高浦勝義  
永地直  
加藤幸次  
染田謙相

- 庶務部○佐久間茂和(東京)
- 成田 幸夫(愛知)
- ※東海個性化研究会
- 池田 信一(福岡)
- ※九州個性化研究会
- 谷口 育史(兵庫)
- ※関西個性化研究会
- 加藤 幸次(東京)
- ※全国連絡担当
- 等々力美津子(東京)
- 加藤 浩子(東京)
- 原崎 佑子(東京)
- 川島 良代(東京)
- 堀竹 蝶子(東京)
- 内藤 和久(山梨)
- 会計部○中澤 米子(東京)
- 橋本 享子(東京)
- 五十子晴美(東京)
- 編集部○三浦 信宏(千葉)
- 安達 幸(千葉)
- 松田 早苗(千葉)
- 笹原 悟(千葉)
- 長谷川 信(千葉)
- 加藤久美子(千葉)
- 広報部○館岡 茂樹(神奈川)
- 太田 始(東京)
- 加藤 勇(埼玉)
- 中田 泰志(埼玉)
- 小久保晶良(埼玉)
- 研修部○河合 剛英(神奈川)
- 池田伊三郎(神奈川)
- 多田 信夫(埼玉)
- 並木 康成(神奈川)
- 松浦 盛人(埼玉)
- 山口 慎吾(埼玉)
- 松本 光弘(千葉)
- 植田 由紀(千葉)
- 吉澤千鶴子(東京) 浅沼 茂(東京)
- 深澤 康弘(静岡) 奈須 正裕(東京)

全国個性化教育研究連盟会報 第37号

平成8年5月11日発行

編集責任者 事務局長 高浦勝義  
編集 広報部 館岡茂樹